

埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県 獣医師会 会報

第 687 号

令和 3 年 1 月 20 日 編集

発 行 所
 公 益 社 団 法 人 埼 玉 県 獣 医 師 会
 〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340
 (埼玉県農業共済会館内)
 電 話 048(645)1906
 F A X 048(648)1865
 E-mail : s-vma@vesta.ocn.ne.jp
 URL : http://www.saitama-vma.org/
 振替口座 00110-9-195954番

発行責任者 高橋 三 男
 編集責任者 大橋 邦 啓
 印 刷 所 (株)アサヒコミュニケーションズ

記事の内容

新年のご挨拶…………… 1

予告

北支部学術講習会(Web開催)のお知らせ… 3

西支部学術講習会(Web開催)のお知らせ①
…………… 4

西支部学術講習会(Web開催)のお知らせ②
…………… 5

お知らせ

埼玉県農林部畜産安全課長からのお知らせ
…………… 6

県内における高病原性鳥インフルエンザ疑似
患畜の確認…………… 9

日本獣医師会からのお知らせ…………… 11

令和2年度日本獣医師会獣医学術学会年次大
会オンラインセミナーのお知らせ…………… 15

新型コロナウイルス関連のお知らせ…………… 17

最近の豚熱の発生状況…………… 19

埼玉県獣医師会学術広報版 …… 20

事務局より

事務局メモ…………… 21

編集後記…………… 22

公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めま

す。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう
1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう
1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう
1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう
1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう



新年の御挨拶

公益社団法人 埼玉県獣医師会

会長 高橋 三男

新年明けましておめでとうございます。

例年であれば、「会員の皆様には、ご健勝にて希望に満ちた新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。」とご挨拶申し上げますところが、新型コロナウイルス感染者の増加により、新年早々から緊急事態宣言が発令され、不安のなかで新たな年を迎えることになりました。

一昨年12月に中国武漢で発生した新型コロナウイルス感染症は、昨年2月に横浜港に停泊中の豪華客船ダイヤモンドプリンセス号船内での集団感染というセンセーショナルなニュースとともに我々にとって身近な問題となりました。その後、首都圏の感染者が増加したため、1都3県に緊急事態宣言が発令されたのは、集合狂犬病予防注射を開始してわずか3日後のことでした。このため、当会の基幹事業であります集合狂犬病予防注射は各市町村長の判断により、即日中止や延期を余儀なくされ、6月末日時点では対前年比12.3%の実施率に留まりました。開業部会会員の先生方には余剰資材の買取りや、技術料から徴収していた会費の直接請求などをお願いせざるを得なくなりました。しかし、会費請求後僅か1か月の間にほぼ全ての先生から会費を納入していただきました。これもひとえに先生方の獣医師会へのご理解の賜物と心から感謝申し上げます次第です。

その後、厚生労働省は6月末日までの注射期間を12月末日までに延長しました。狂犬病は未だに世界中で毎年約5万人もの死者を出しています。犬の予防注射の接種率向上は獣医師に与えられた責務です。機会あるごとに市町村長に対し集合注射の実施の必要性を強く訴えましたが、残念ながら新型コロナウイルスの感染拡大は止まることなく、その後の集合注射は3市での実施に留まりました。

昨年8月21日に、さいたま市の清水園で「これからの異業種交流会の在り方」を考える会が開催されました。この会は埼玉新聞社の丸山晃名誉顧問の呼び掛けにより、埼玉県医師会の金井忠男会長が代表世話人となって、大野元裕埼玉県知事、医師で弁護士の古川俊治参議院議員（埼玉県獣医師連盟顧問）をお招きし、県内各市町村長や企業・団体の代表者など、約160名が出席しました。大

野知事は新型コロナウイルスに対する県の対応について説明し、古川先生は多忙なか御自身で読破された世界各国の論文をわかりやすく詳細に説明していただきました。私は世話人を務め、挨拶で登壇しましたが、この機会を利用して、緊急事態宣言の影響で集合狂犬病予防注射の実施率が低迷していることを紹介するとともに、狂犬病は未だに海外では10分間に一人が亡くなっており、発症すると治療がなく死を待つのみの大変恐ろしい病気であることを説明し、人への感染を防ぐために、法律で定められた犬へのワクチンの必要性和その実施率向上について、出席していた市町村長をはじめ各界・各層のオピニオンリーダーに強く訴えさせていただきました。

新型コロナウイルスも動物由来と言われていますが、「人と動物の共通感染症」は、世界各地で発生が続いており、その流行防止対策が喫緊の課題となっております。さらに「食品の安全性確保」への関心も益々高まってきており、人と動物の健康を担う医師と獣医師が“One Health”の概念に基づき密接に連携し、安全で安心な社会を構築することが求められています。

このことは、埼玉県においても同様であり、埼玉県獣医師会と埼玉県医師会とが協定を締結した時の理念である「人と動物の健康は一つ。そして、それは地球の願い」との思いを抱いて、これまで以上に医師と獣医師が緊密に連携して、課題解決に取り組んでいく必要があると実感いたしているところでもあります。

埼玉県獣医師会といたしましては、これまでも「今ある命を大切に、また、無駄な命を増やさない」をモットーに、動物福祉・愛護への考え方の普及を図ってまいりました。これからも、より、人と動物が共存する豊かな社会の実現が図られるよう、一層努力してまいりたいと考えています。

我が国は、これから、少子高齢化が一段と進み人口が減少するとともに、国民の生活様式や価値観も大きく変化していくものと思われまます。また、高齢社会となって介護も増えてまいりますが、その一助として、動物との触れ合いも増えてくるものと思われまます。私は動物の役割がますます重要になってくるため、改めて人と動物が共存して、

豊かな社会が築いていけるようにしていきたいと考えています。そのためにも、獣医師会と医師会と行政が連携して、人と動物の共通感染症から国民と動物を共に守り、双方が安心して暮らしていける社会にしていきたいです。

私は、埼玉県獣医師会が公益団体として今後とも県民の期待に応えてまいりますため、引き続き、会員の皆様とともに、次の点に努力してまいりますと考えております。

私たち埼玉県獣医師会は、

1 社会から期待され信頼される公益団体として、これまでの活動で培ってきた伝統を受け継ぎながら、新しい時代に向けた適切な会務運営に努めてまいります。

2 あらゆる機会を捉えて、獣医師及び獣医師会の果たす社会的使命や役割を広く情報発信するとともに、施策提言に努めてまいります。

また、「獣医師の誓い-95年宣言」、「埼玉県獣医師会会員憲章」並びに「獣医師会活動指針」に則り、会員の法令遵守と獣医師職業倫理の高揚を図ってまいります。

3 国や県、市町村、また、埼玉県医師会などの関係団体と緊密に連携し、食の安全確保対策の推進や狂犬病等の人と動物の共通感染症の予防対策に適切に対応してまいります。

また、豚熱や高病原性鳥インフルエンザ、口蹄疫などの家畜伝染病については、発生予防、迅速な通報と初動防疫及び飼養衛生管理基準の遵守等について、行政機関と連携して指導に努めてまいります。

4 人と動物が共存する豊かな地域社会の実現を目指して「埼玉県動物愛護管理推進計画」の着実な推進を支援してまいります。

また、命の尊さを通じ豊かな感性を育てる学校動物飼育活動や動物福祉の増進等の取組を推進してまいります。

5 「災害時における愛護動物の救護活動に関する覚書」に基づき、埼玉県と連携して具体的な救護体制の整備に取り組んでまいります。

また、傷病野生鳥獣の保護管理につきましては、埼玉県の進める保護対策事業を推進し、生物多様性の保全を図ってまいります。

6 学術講習会や交流会等を積極的に開催するとともに、各種学会への会員の参加を支援することで、知識、技術の高位平準化を図り、その成果を広く県民に還元してまいります。

さらに、日本獣医師会の「獣医師生涯研修事業」については、本会が全国トップクラスの実績を誇っておりますことから、引き続き、会員のさらなる参加を促進してまいります。

7 動物愛護フェスティバルや日本獣医師会主催

の動物感謝デー等に積極的に参加し、獣医師会の果たす役割と会員の活動内容を広く県民に啓発してまいります。

私たちは、昨日より今日、今日より明日と、日々「進歩」しておりますが、ウィズコロナ、アフターコロナのこれからの時代は、進歩だけでは社会の変革のなかで期待に応えていくことはできません。進歩しつつも、組織の中で大きく変革し、今後とも貴重なこの経験から得た知識を支えに、進歩を「進化」していかなければなりません。

私は、これからも皆様とお互いに手を携え、常に「進歩と進化」を続け、組織のリーダーとして初心を忘れることなく、国や地方、県や市町村、更には各種団体等、各界、各層と密接に連携を図りながら、「熟慮」、「決断」、「実行」をモットーに、新しい時代の潮流を見定め、期待される埼玉県獣医師会の構築のために全力で取り組んでまいりたいと考えております。

組織の舵取りを行っていくには「3つの目」が必要とされます。一つ目は、近づいて様々な角度から複眼的に物事を見る「虫の目」、二つ目は、高い位置から俯瞰的に全体を見回して物事を見直す「鳥の目」、そして、三つ目が、潮の流れを見る、つまり、時代の流れを読む「魚（さかな）の目」です。私は、常にこの「3つの目」の視点により、今後とも責務と誇りを持って、最大限、会の運営に努力してまいりますので、皆様の一層の御支援をお願い致します。

今年は丑年（うしどし）です。丑という字は「手の指先に力を入れて曲げ、ものを固く握る形」に由来し、「ひねる」という意味も表しています。また、牛は古来から農作業や物を運ぶときの労働力として、人間の生活に欠かせない動物でした。勤勉によく働く姿が「誠実さ」を象徴し、身近にいる縁起の良い動物であるとともに、今では人の命を支える貴重な蛋白源でもあります。大宰府天満宮や京都の北野天神には座り込んだ牛の像が置かれており、牛を神の使いとして祀っています。

今年こそ、誠実で勤勉な埼玉県獣医師会会員が人々の生活に欠かせない存在となる年になるものと思っております。

我が国は初めてコロナ禍のなかで新たな年を迎えました。ワクチンや治療薬の開発により、一日も早くコロナに打ち勝ち、この夏に開催されるオリンピック・パラリンピックを成功させ、これが紛争のない平和な世界のきっかけになることを願うとともに、本年が、会員の皆様にとりまして、希望に満ちて、健康で平和に過ごせる一年となりますことを心からお祈り申し上げ、私の新年の御挨拶とさせていただきます。

予 告

北支部学術講習会(Web開催)のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(7))

北支部長 大橋 邦啓
学術委員 高野 宜彦

日々の診療で必ず行う検査として、画像診断の検査があります。X線と超音波検査です。

今回は二次診療施設の最前線で画像診断を行っている戸島先生を招聘し、専門医ならではの技術だけではなく、一次診療でも応用できるようなX線の読影や超音波検査のコツなどを講演して頂きます。明日からの診療に活かし、画像診断を改めて見直すきっかけになればと存じますので、多くの先生方のご参加をお待ちしております。

日 時：令和3年2月11日（木・祝）
14：30～17：00

演 題：「腹部臓器の良くあるX線画像と超音波画像～まずここから始めよう～」

講 師：日本小動物医療センター 第一画像診断科科长
戸島 篤史 先生

参加費：無料

視聴方法：Zoom形式

申込方法：各支部学術委員より事前申込を通知いたします。
その後、申込者にパスコードを送付いたします。
下記サイトからも申し込みが可能です。

<https://forms.gle/tBPp8vWgpT8GRv2t9>

※申込締切 2/4まで

※定員100名まで（但し、事前申込人数によって増員を考慮する）



その他：講習会終了後に質疑を行います。

質問がある方は、講義終了後にチャット機能より送信してください。

講義中はマイクをミュート（消音）、ビデオをオフにしてください。

西支部学術講習会(Web開催)のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(1) 小3(10))

西支部長 別部 博司

学術委員 岡田 かおり

日本小動物医療センターの小野先生に「眼表面（眼瞼、結膜、瞬膜）の主な疾患」について講演をお願いしました。西支部が単独で開催する初めてのWeb講習会となります。不慣れではありますがスムーズな運営を心掛けますので、Zoomを初めてご利用される方は下記のその他について事前準備をお願いします。

日 時：令和3年2月28日（日）

13：30～16：00

演 題：「眼表面（眼瞼、結膜、瞬膜）の主な疾患」

講 師：日本小動物医療センター パル動物病院

小野 啓 先生

参加費：無料

視聴方法：Zoom形式

申込方法：下記のURLより事前登録をお願いいたします。（2月21日締切）

<https://forms.gle/Yc55Akxy9paBRutW9>



その他：Zoomミーティングにて配信いたします。

Zoomを初めてご利用される方は以下のURLから事前にダウンロードと登録をお願いいたします
(<https://zoom.us/download>)

- ・安定したネット環境でご参加ください（有線LANを推奨）
- ・参加者確認のため、アカウント名は本名をお願いいたします
- ・講習会の録画、録音はご遠慮ください
- ・生涯学習ポイントの申請をご希望の方は講習会を視聴後、事務局に直接お問い合わせください
- ・この講習会の見逃し配信は行いません

西支部学術講習会(Web開催)のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(1) 小3(8))

西支部長 別部 博司

学術委員 岡田 かおり

日本生命科学大学 腎泌尿器科の宮川先生に「下部尿路疾患」の講演を依頼しました。

Zoomを初めてご利用される方は下記のその他について事前準備をお願いします。

日 時：令和3年3月21日（日）

13：30～16：00

演 題：「下部尿路疾患」

講 師：日本生命科学大学 腎泌尿器科

宮川 優一 先生

参加費：無料

視聴方法：Zoom形式

申込方法：下記のURLより事前登録をお願いいたします。（3月14日締切）

<https://forms.gle/5d8owcP9RinxLfw3A>



その他：Zoomミーティングにて配信いたします。

Zoomを初めてご利用される方は以下のURLから事前にダウンロードと登録をお願いいたします

(<https://zoom.us/download>)

- ・安定したネット環境でご参加ください（有線LANを推奨）
- ・参加者確認のため、アカウント名は本名をお願いいたします
- ・講習会の録画、録音はご遠慮ください
- ・生涯学習ポイントの申請をご希望の方は講習会を視聴後、事務局に直接お問い合わせください
- ・この講習会の見逃し配信は行いません

お知らせ

公益社団法人 埼玉県獣医師会
会長 高橋三男 様

畜安第920-2号
令和2年12月18日

埼玉県農林部畜産安全課長
野澤 裕子 (公印省略)

「獣医師法の一部を改正する法律及び獣医療法の施行について」の一部改正について (通知)

獣医事行政の推進については、日頃から格別の御理解・御協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、標記の件について、別紙のとおり一部改正がありましたので、お知らせいたします。

記

1 改正内容

- (1) 押印の省略
- (2) その他
文言の修正

※別紙省略

広告



こわい狂犬病から
ぼくを守ってね

毎年1回の狂犬病予防注射を忘れずに！



研究開発元 一般財団法人 松岡科学研究所
製造販売元 松研薬品工業株式会社

〒184-0003 東京都小金井市緑町5丁目19番21号
TEL: (042) 381-0075 FAX: (042) 381-0344
URL: <http://www.matsuken-yakuhin.com>
E-mail: daihyo@matsuken-yakuhin.com

■ 松研狂犬病 TC ワクチン

劇 要指示 指定

松研の動物用生物学的製剤

豚用ワクチン

- 豚コレラ生ウイルス乾燥予防液
- 松研豚丹毒生ワクチン
- ポーシリス APP-N
- ポーシリス ERY
- ポーシリス STREPSUIS
- ポーシリス Begonia DF・10
- ポーシリス Begonia DF・50

水産用ワクチン

- Mバック レンサ 注
- Mバックイニエ
- 松研Mバック IPレンサ

家畜用抗毒素

- 破傷風血清

畜安第922-3号

令和2年12月23日

公益社団法人 埼玉県獣医師会
会長 高橋三男 様

埼玉県農林部畜産安全課長
野澤 裕子 (公印省略)

年末年始、春節等に向けたアフリカ豚熱、豚熱、口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ等に関する防疫対策の徹底について (依頼)

日頃から家畜衛生行政の推進につきまして、御協力いただき感謝申し上げます。

さて、標記について、令和2年12月22日付け2消安第4240号農林水産省消費・安全局長通知がありました。

については、農場管理者による飼養衛生管理等が徹底されるよう、下記のとおり貴会会員への周知に御理解、御協力いただきますよう、お願い申し上げます。

記

1 畜産関係者等の海外渡航の自粛等の指導の徹底

貴会員に対して、改めて、アフリカ豚熱等の発生地域への渡航を自粛するよう要請をお願いします。

2 家畜の所有者に対する早期発見・通報及び農場への病原体侵入防止の再徹底等

- (1) 看板の設置等により、必要のない者が衛生管理区域や畜舎に立ち入り又は不要な物を持ち込まないこと。
- (2) 早期発見・早期通報の再徹底、防護柵、防鳥ネットの確認、人・車両の出入りの厳重管理及び農場周辺の消石灰散布等による農場へのウイルス侵入防止を徹底すること。

畜安第979-3号

令和3年1月15日

公益社団法人 埼玉県獣医師会
会長 高橋三男 様

埼玉県農林部畜産安全課長
野澤 裕子 (公印省略)

豚及びいのししの飼養衛生管理基準全国講習会の開催について (通知)

日頃から本県家畜衛生行政の推進につきまして、御協力いただき、感謝申し上げます。

さて、標記について、令和3年1月14日付けで農林水産省消費・安全局動物衛生課長から開催通知がありましたので、貴会会員等に周知の上、農場の飼養衛生管理向上のため受講を推奨していただきますよう、御協力方よろしくお願いいたします。

記

1 日 時

令和3年2月5日 (金) 13:00~15:40

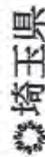
2 場 所

YouTubeLive

(<https://www.youtube.com/watch?v=pJtfNSpx4xc&feature=youtu.be>)

3 演 題

- (1) 豚及びいのししの飼養衛生管理基準について
(農林水産省消費・安全局家畜防疫対策室病原体管理班 課長補佐 古庄 宏忠)
- (2) 養豚の飼養衛生管理の向上と薬剤耐性対策について
(農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課薬剤耐性対策班 専門官 比企 基高)
- (3) 農場の飼養衛生管理向上の取組みについて
(岐阜県 有限会社アベピッグファーム 代表取締役 阿部 浩明)



＜報道発表資料＞

農林部 畜産安全課
野澤 直道 048-830-4189
内線 4189
E-mail: s4170@pref.saitama.lg.jp

令和3年1月21日

高病原性鳥インフルエンザ疑似患畜の確認について (千葉県発生(国内37例目)に係る疫学関連農場)

令和3年1月21日に確認された、千葉県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜について、疫学関連農場の調査を実施したところ、埼玉県においても高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認されました。

1. 疑似患畜が確認された農場

関連農場 1

- ①施設の所在地 行田市
- ②殺処分対象羽数 879羽 (疑似患畜)
- ③飼養状況 あひる (約3,000羽)

関連農場 2

- ①施設の所在地 春日部市
- ②殺処分対象羽数 1,280羽 (疑似患畜)
- ③飼養状況 あひる (約6,000羽)

2. 経過

- (1) 1月20日、千葉県より鳥インフルエンザ発生疑い事例があり、当該農場から本県のおひる飼養農場にヒナが導入されているとの情報あり。
- (2) 1月21日、千葉県が実施する検査により、千葉県での高病原性鳥インフルエンザが疑似患畜と確定。
- (3) 同日、本県のおひる飼養農場に導入されたヒナについても疑似患畜と確定。
- (4) 高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針に基づき、千葉県から導入されたヒナを疑似患畜として殺処分とする。なお、その他の飼養家さんについては疫学関連家さんとし14日間監視対象とする。

3. 県の対応

- (1) 本日、午前1時00分から知事を本部長とする緊急対策本部会議を開催し、家畜伝染病予防法及び高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針に基づき、速やかに防疫措置

を実行する予定。

- ア 当該農場で確認された疑似患畜の殺処分 (24時間以内)
- イ 殺処分したあひるの焼却処分 (72時間以内)
- ウ 汚染物品の焼却
- エ 家畜舎の消毒
- オ 畜産関係車両消毒のための消毒ポイントの設置 (緊急消毒ポイント2か所)

(2) 問い合わせ先

- ア. 鶏肉・卵の安全に関すること
 - ◆ 保健医療部食品安全課 048-830-3611
 - イ. 鶏の病気に関すること
 - ◆ 農林部畜産安全課 048-830-4189
 - ◆ 中央家畜保健衛生所 (さいたま市) 048-663-3071
 - ◆ 川越家畜保健衛生所 (川越市) 049-225-4141
 - ◆ 熊谷家畜保健衛生所 (熊谷市) 048-521-1274
- なお、異常を示す鶏を発見した場合は、速やかに最寄りの家畜保健衛生所に連絡してください。(土日曜・祝日も対応します)

4. その他

- (1) 当該農場で殺処分されたあひるの肉が市場に出回ることはありません。
- (2) 我が国の現状において、家畜の肉や卵を食べることにより、ヒトが鳥インフルエンザウイルスに感染する可能性はないと考えられております。

「埼玉県高病原性鳥インフルエンザ緊急対策本部」会議の開催について

- 日時 令和3年1月21日 (木) 午前1時00分～
- 場所 知事室

【報道機関へのお願ひ】

- ①現場での取材は、本県のまん延を引き起こすおそれがあること、農家の方のプライバシーを侵害しかねないことから、誠に慎むよう御協力をお願いいたします。
- ②特にヘリコプター、ドローン等を使用する取材は、作業員相互の連絡に支障をきたし、防疫作業の妨げとなりますので、誠に慎むよう御協力をお願いします。
- ③県現地機関、市等への取材は防疫措置の遅れにつながるため、慎んでいただきますようお願いいたします。
- ④今後とも、本病に関する速やかな情報提供に努めていきますので、生産者等の関係者が根拠のない噂などにより混乱することがないよう、御協力をお願いいたします。

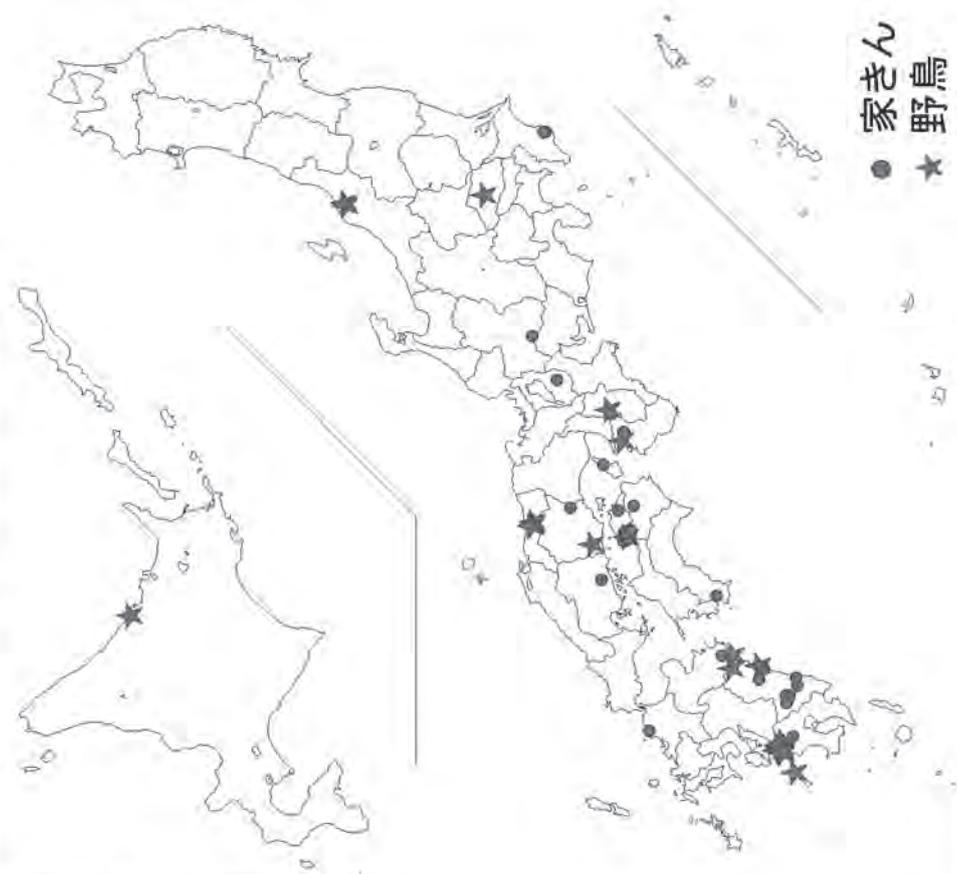
高病原性鳥インフルエンザの発生状況

令和2年度 国内における高病原性鳥インフルエンザ発生状況

(令和3年1月18日時点)

家さん 15県36事例(H5N8)

事例	発生場所 (疑似患者判定日)	飼養状況 (万羽)	事例	発生場所 (疑似患者判定日)	飼養状況 (万羽)
1	香川県三豊市(11/5)	採卵鶏約31.7	26	宮崎県日向市(12/14)	肉用鶏約4.6
2	香川県東かがわ市(11/8)	採卵鶏約4.6	26関連	宮崎県川南町(12/14)	肉用鶏約2 (食鳥処理場)
3	香川県三豊市(11/11)	肉用種鶏約1.1	27	高知県宿毛市(12/16)	採卵鶏約2.7
4	香川県三豊市(11/13)	肉用種鶏約1	28	香川県三豊市(12/16)	肉用鶏約1.4
5	香川県三豊市(11/15)	採卵鶏約7.7	28関連	香川県三豊市(12/16)	肉用鶏約1.5
6	香川県三豊市(11/20)	採卵鶏約15.4	29	徳島県阿波市(12/19)	採卵鶏約0.8
6関連	香川県三豊市(11/20)	採卵鶏約11.7	30	宮崎県宮崎市(12/19)	肉用種鶏約3.4
6関連	香川県三豊市(11/20)	肉用鶏約5.7	31	香川県三豊市(12/23)	肉用鶏約2.5
6関連	香川県三豊市(11/20)	肉用鶏約1.7	32	千葉県いすみ市(12/24)	採卵鶏約11.6
7	香川県三豊市(11/20)	採卵鶏約43.9	33	宮崎県小林市(12/30)	採卵鶏約15.4
8	香川県三豊市(11/21)	採卵鶏約7.5	34	岐阜県美濃加茂市(1/2)	採卵鶏約6.8
9	福岡県宗像市(11/25)	肉用鶏約9.2	35	千葉県いすみ市(1/11)	採卵鶏約114.5
10	兵庫県淡路市(11/25)	採卵鶏約14.5	36	鹿児島県さつま町(1/13)	肉用鶏約3.2
11	宮崎県日向市(12/1)	肉用鶏約3.4			
12	宮崎県豊後市(12/2)	肉用鶏約2.9			
13	香川県三豊市(12/2)	採卵鶏約22.5			
13関連	香川県三豊市(12/2)	採卵鶏約12.3			
14	香川県三豊市(12/2)	採卵鶏約1.9			
15	宮崎県都城(12/3)	肉用鶏約3.4			
16	奈良県五條市(12/6)	採卵鶏約7.7			
17	広島県三原市(12/7)	採卵鶏約8.5			
17関連	広島県三原市(12/7)	採卵鶏約5.2			
18	宮崎県都城(12/7)	肉用鶏約5.9			
19	宮崎県小林市(12/8)	肉用鶏約4.3			
20	大分県佐伯市(12/10)	肉用鶏約1.4			
20関連	大分県佐伯市(12/10)	肉用鶏約2.4			
20関連	大分県佐伯市(12/10)	肉用鶏約1.8			
21	和歌山県紀の川市(12/10)	採卵鶏約6.8			
22	岡山県美作市(12/11)	青雉約52.7			
22関連	岡山県美作市(12/11)	青雉約11.8			
23	滋賀県東近江市(12/13)	採卵鶏約1.0			
24	宮崎県宮崎市(12/14)	採卵鶏約7			
24関連	宮崎県宮崎市(12/14)	採卵鶏約4.5			
24関連	宮崎県宮崎市(12/14)	採卵鶏約1.1			
25	香川県三豊市(12/14)	採卵種鶏約2.8			



野鳥 10道県29事例(H5N8) 2県2事例(検査中) 月日は検体回収日(同月日重複は別事例)

北海道紋別市糞便(10/24)、新潟県阿賀野市環境試料(水)(11/16)、糞便(11/16)、埼玉県ときがわ町死亡フクロウ(12/23)、和歌山県和歌山市死亡オンドリ(12/3)、奈良県大淀町死亡オオタカ(12/20)、鳥取県鳥取市糞便(12/7,21)・環境試料(水)(12/9)、岡山県矢掛町死亡ハヤブサ(12/4)、香川県三豊市死亡ノスリ(12/8)、鹿児島県出水市糞便(11/5)・環境試料(水)(11/9,16,23,30,12/7,7,14,14,21,21,1/8,1/11,11)・死亡ナベツル(12/18)・衰弱オンドリ(12/22)、宮崎県延岡市糞便(11/30)、都農町糞便(11/30)、【検査中】宮崎県延岡市死亡オオナガモ(1/6)、鹿児島県川内市死亡マガン(1/16)

2日獣発第206号

令和2年12月11日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
 会長 藏内 勇夫
 (公印及び契印の押印は省略)

「食品循環資源利用飼料の安全確保のためのガイドラインの策定について」 の一部改正について

このことについて、令和2年12月1日付け2消安第3705号をもって、農林水産省消費・安全局長から別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、食品循環資源利用飼料の安全確保のためのガイドラインの策定について（令和2年8月31日付け2消安第2496号農林水産省消費・安全局長通知）の通知の一部を別添のとおり改正することを周知するものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

事務連絡

令和2年12月24日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
 副会長兼専務理事 境 政人

マイナンバーカードの積極的な取得と利活用の促進について（協力依頼）

このことについて、令和2年12月11日付け事務連絡をもって、農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課課長補佐（獣医事班担当）から、別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、今般、菅内閣総理大臣の所信表明演説において、令和4年度末にはほぼ全国民にマイナンバーカードが行き渡ることを目指していく旨の発言があったところであり、政府として、普及拡大に向け、改めて取組を進めており、マイナンバーカードの積極的な取得と利活用の促進の呼びかけについて協力を依頼されたものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

2日獣発第234号
令和3年1月14日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
会長 藏内 勇夫
(公印及び契印の押印は省略)

臨床検査技師等に関する法律施行令の一部を改正する政令の公布について

このことについて、令和2年12月23日付け医政発1223第11号をもって、厚生労働省医政局から別添のとおり通知がありました。

臨床検査技師等に関する法律施行令の一部を改正する政令（令和2年政令第366号）については、令和2年12月23日に別紙1、2のとおり公布されています。

このたびの通知は、臨床検査技師等に関する法律施行令（昭和33年政令第226号）第18条第3号に定める臨床検査技師国家試験の受験資格について、第3号と第4号に分けた上で、第3号については、現行の第3号のイ、ロ及びホに掲げる者であって、大学又は臨床検査技師養成所において検体検査、生理学的検査、採血及び検体採取に関する科目で厚生労働大臣の指定するものを修めたものと規定するとともに、第4号については、大学において、検体検査、生理学的検査、採血及び検体採取に関する科目で厚生労働大臣の指定するものを修めて卒業したものと規定するよう改正したことについて周知するものです。

つきましては、貴会会員に周知方よろしくお願いいたします。

※別添、別紙省略

2日獣発第235号
令和3年1月14日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
会長 藏内 勇夫
(公印及び契印の押印は省略)

「獣医師法の一部を改正する法律及び獣医療法の施行について」の一部改正について

このことについて、令和2年12月18日付け2消安第4080号をもって、農林水産省消費・安全局長から別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、令和2年7月に閣議決定された「規制改革実施計画」（令和2年7月17日閣議決定）において、「各府省は、・・・緊急対応を行った手続だけでなく、原則として全ての見直し対象手続について、恒久的な制度的対応として、年内に、規制改革推進会議が提示する基準に照らして順次、必要な検討を行い、法令、告示、通達等の改正やオンライン化を行う。」こととされたことを踏まえ、押印を求める手続の見直し等のため、「獣医師法の一部を改正する法律及び獣医療法の施行について」（平成4年9月1日付け4畜A2258号農林水産事務次官依命通知）を別添の新旧対照表のとおり改正し、各都道府県知事宛てに通知した旨を周知するものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

2日獣発第240号
令和3年1月15日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
会長 藏内 勇夫
(公印及び契印の押印は省略)

高病原性鳥インフルエンザ発生時の円滑な防疫措置に向けた防疫体制の整備について

このことについて、令和2年12月28日付け2消安第4343号をもって、農林水産省消費・安全局長から別添のとおり通知がありました。

現在国内で継続的に発生している高病原性鳥インフルエンザについて、今後も渡り鳥の到来シーズンが続くことから、引き続き警戒を怠らず、万が一の発生時には、農場での早期封じ込め・まん延防止対策の徹底を図ることが重要です。

このたびの通知は、疾病発生時の円滑な防疫措置に必要な人員、防疫資材及び埋却地等の確保について、下記のとおり緊急的な机上防疫演習を令和3年1月15日までに実施し、その結果を同月22日までに農林水産省へ報告するよう各都道府県知事宛てに通知されたことを周知するものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

記

- 1 想定発生規模:①肉用鶏10万羽規模、②採卵鶏6万羽規模、③各都道府県内最大の養鶏農場（肉用、採卵にかかわらず）の飼養羽数規模
- 2 机上防疫演習に際しての留意点:①防疫措置完了までに必要な人員の算定、②作業者の動員元の確認、③必要な資材の品目及び数量の算定、④殺処分鶏の処理の確認
- 3 結果報告:1に記載の発生想定規模ごとに、①動員元及び動員人数のリスト、②必要資材の品目及び数量のリスト、③各都道府県の備蓄では不足する場合の購入先及び連絡先リスト、④所有者の埋却地等の事前確保が十分でない場合の焼却施設又は公有地の場所、関係者の連絡先リストについて報告する。

※別添省略

事務連絡
令和3年1月15日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
副会長兼専務理事 境 政 人

動物用医薬品等取締規則の一部を改正する省令の制定について

このことについて、令和2年12月25日付け事務連絡をもって、農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課課長補佐（薬事審査管理班担当）から、別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和35年法律第145号）第83条第1項の規定により読み替えて適用される同法第36条の8第1項、第44条第1項及び第2項並びに第49条第1項の規定に基づき、動物用医薬品等取締規則の一部を改正する省令（令和2年農林水産省令第86号）が公布・施行され、下記のとおり改正されたことを周知するものです。

つきましては、貴会会員に周知方よろしくお願いいたします。

記

1 指定医薬品及び要指示医薬品への指定

イドクスウリジンを含む製剤、チアマゾールを含む製剤及びデクスメドミジンを有効成分とする製剤の製造販売が承認されることに伴い、これらの製剤を指定医薬品及び要指示医薬品に指定した。

また、デクスメドミジンの類薬であるメドミジンを有効成分とする製剤についても、同様に要指示医薬品に指定し、さらに、メドミジン等の拮抗薬であるアチパメゾールを含む製剤についても、これらの製剤と同様に指定医薬品及び要指示医薬品に指定した。

2 劇薬への指定

薬事・食品衛生審議会の答申を踏まえて、デクスメドミジン（原薬）を毒薬に、デクスメドミジンを含む製剤（1 mL 中デクスメドミジンとして420 μ g以下を含む注射剤）を劇薬に指定した。

※別添省略

令和2年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会 オンラインセミナー(参加費無料)

※講演のタイトルは仮題です。

※講演内容等は変更する場合があります。

名 称：令和2年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会オンラインセミナー
「一時代のニーズに応じる獣医療を目指して」

開催方法：Webによる動画配信

日 程：令和3年2月20日、27日、3月6日、13日、20日、他（土曜6日間）

内容・時間等（予定）：

1 第1回目（2月20日（土）13：00～16：00）

日本医師会・日本獣医師会・厚生労働省による連携シンポジウム
シンポジウム「withコロナ下におけるペットとの付き合い方」
－正しく知ろう、動物と人のコロナウイルス感染症－（仮題）

(1) 人の新型コロナウイルス感染症の最前線

松本哲哉（国際医療福祉大学医学部感染症学講座主任教授）

(2) 動物のコロナウイルス感染症の多様性

前田健（国立感染症研究所獣医科学部長）

(3) ペットと暮らす－人とペットのコロナ対策－

①東京都獣医師会の取組み

中川清志（公益社団法人東京都獣医師会副会長）

②陽性者の飼育動物のケア－企業の取組み－

河本光祐（アニコム先進医療研究所株式会社代表取締役社長）

〔総合討論〕

2 第2回目（2月27日（土）13：00～16：00）

日本産業動物獣医学会企画オンラインセミナー

シンポジウム「わが国におけるCSF（豚熱）対策の現状と問題点」

星野和久（農林水産省消費・安全局動物衛生課国内防疫対策室長）

山本健久（農研機構動物衛生研究部門ウイルス・疫学研究領域疫学ユニット長）

田村康則（岐阜県農政部家畜伝染病対策課野生いのしし対策室長）

仲村 敏（沖縄県畜産振興公社専務理事）

伊藤 貢（あかばね動物クリニック）

〔総合討論〕

3 第3回目（3月6日（土）13：00～16：00）

日本獣医師会企画野生動物教護対策オンラインセミナー

(1) 保全医学

- (2) CSF (いのしし)
- (3) HPAI (野鳥)

4 第4回目 (3月13日 (土) 13:00~16:00)

日本小動物獣医学会企画オンラインセミナー

教育講演「犬猫における消化器の超音波検査」

横山 望 (北海道大学特任助教)

教育講演「犬猫における消化器のX線検査1」

新坊弦也 (北海道大学特任助教)

5 第5回目 (3月20日 (土) 13:00~16:00)

日本獣医公衆衛生学会企画オンラインセミナー

セミナー「新型コロナウイルス感染症流行下における獣医公衆衛生の役割」

- (1) 新型コロナウイルス感染症に関して獣医師が果たすべき役割

梅田浩史(厚生労働省健康局結核感染症課)

- (2) 2020年(コロナ禍)の東京都内における食中毒発生状況

赤瀬 悟(東京都健康安全研究センター微生物部食品微生物研究科食中毒研究室)

教育講演「わが国の結核の現状(仮)」

鈴木定彦(北海道大学人獣共通感染症リサーチセンターセンター長)

6 第6回目 (未定)

日本獣医師会企画改正法令オンラインセミナー

「愛玩動物看護師法/動物愛護管理法」

中元哲也(農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課課長補佐)

未定(環境省自然環境局総務課動物愛護管理室)

未定(公益社団法人日本獣医師会)

参加登録: 後日、参加申込用ホームページから事前参加登録(参加費は無料)
(後日、日本獣医師会HPのトピックスからおはいいりいただけます。)

講演要旨: 専用ホームページからダウンロード

後日配信: 開催後、4月中を目途に本会HP、YouTube等による配信を検討中

農政第681号
令和2年12月24日

(公社) 埼玉県獣医師会
会長 高橋 三男 様

埼玉県農林部長 強瀬 道男 (公印省略)

新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく協力要請について (依頼)

本県農林行政の推進につきましては、日頃から格別の御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本県を含め首都圏全体で新型コロナウイルス感染症が拡大しているため、第35回埼玉県新型コロナウイルス対策本部会議(12月23日開催)において、別添のとおり、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、さらに一段強い協力を県民の皆様及び事業者の皆様をお願いすることが決定されました。

つきましては、趣旨を御理解いただき、関係者の皆様への周知に御協力くださるようお願い申し上げます。

(参考) 埼玉県HP

【12月23日発表】営業時間の短縮要請等について(特措法に基づく協力要請)

http://www.pref.saitama.lg.jp/a0401/covid19/saitamaken_kyouyokuyousei124.html

※別添省略

農政第693号
令和3年1月5日

(公社) 埼玉県獣医師会
会長 高橋 三男 様

埼玉県農林部長 強瀬 道男 (公印省略)

外出自粛及び営業時間の短縮等の要請について (依頼)

本県農林行政の推進につきましては、日頃から格別の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本県を含め首都圏全体で新型コロナウイルス感染症が拡大しており、1都3県で足並みを揃えた対策が必要であることから、第38回埼玉県新型コロナウイルス対策本部会議(1月4日開催)において、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、県民及び事業者の皆様へ別添のとおり協力を要請することが決定されました。

つきましては、趣旨を御理解いただき、関係者の皆様への周知に御協力くださるようお願い申し上げます。

なお、今後、緊急事態宣言が発出された場合には、必要に応じて改めて協力要請のお願いをさせていただきます。

(参考) 埼玉県HP

【1月4日発表】外出自粛及び営業時間の短縮等の要請について

http://www.pref.saitama.lg.jp/a0401/covid19/saitamaken_kyouyokuyousei0104.html

※別添省略

農政第708号

令和3年1月8日

(公社) 埼玉県獣医師会
会長 高橋 三男 様

埼玉県農林部長 強瀬 道男 (公印省略)

「埼玉県における1月8日以降の緊急事態措置等」について (依頼)

本県農林行政の推進につきましては、日頃から格別の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、埼玉県を含む首都圏の1都3県を対象に、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が発令されたことから、本県では、国が定めた基本的対処方針に基づき、緊急事態措置等を実施いたします。

つきましては、感染の拡大に歯止めをかけ、医療崩壊を防ぐとともに、県民の命を守るため、趣旨を御理解いただき、関係者の皆様への周知に御協力くださるようお願い申し上げます。

また、県では、お取り寄せ埼玉県産農産物応援サイトの開設などによる県産農産物の販売促進PRや各種の相談への対応など、事業者の皆様の支援に一層取り組んでまいりますので、御不明な点等があれば、農林部本庁各課及び各農林振興センターまでお問い合わせください。

(参考) 埼玉県HP

【1月7日発表】 埼玉県における1月8日以降の緊急事態措置等

http://www.pref.saitama.lg.jp/a0401/covid19/saitamaken_kinkyujitaisochi0107.html

最近の豚熱の発生状況

豚熱の防疫措置対応(概要)

令和3年1月7日 16時00分現在

事例数: 59事例 (防疫措置対象: 98農場、4と畜場、171,016頭(既にと畜されていた頭数を除く))		防疫対応状況(予定は最速の場合)					
発生場所	発生日	飼養頭数※(種別) ※患畜確定時の頭数	農林水産省 対策本部		17日目 ～ 28日目		
			措置完了日(日付)	17日目 ～ 28日目			
			防疫措置(検定分、消毒等)	移動制限区域 解除			
			開始	完了			
55	豚肥育農場 (沖縄県うるま市)	2020年 1月15日	1,717頭	1月15日 16時00分	1月18日 18時00分	4月4日0時解除	4月14日0時解除
56	豚肥育農場 (沖縄県沖縄市)	2020年 2月2日	1,860頭	2月2日 18時34分	2月6日 11時00分	4月4日0時解除	4月14日0時解除
57	豚肥育農場 (沖縄県うるま市)	2020年 2月25日	1,038頭	2月26日 0時45分	2月28日 18時30分	4月4日0時解除	4月14日0時解除
58	豚肥育農場 (沖縄県うるま市)	2020年 3月12日	440頭	3月12日 13時45分	3月15日 15時30分	4月4日0時解除	4月14日0時解除
59	豚一貫農場 (群馬県高崎市)	2020年 9月26日	5,887頭	9月26日 21時00分	10月9日 18時00分	ワクチン接種地域であるため、制限区域は設定しない	
60	豚肥育農場 (山形県鶴岡市)	2020年 12月25日	1,327頭(精査中)	12月25日 18時00分	12月29日 17時40分		
61	豚一貫農場 (三重県伊賀市)	2020年 12月29日	7,026頭(精査中)	12月29日 18時00分	1月7日 16時00分	ワクチン接種地域であるため、制限区域は設定しない	

農林水産省ホームページ <https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/attach/pdf/domestic-160.pdf>

令和2年度埼玉県獣医師会学術広報版

(令和3年1月20日現在)

年月日	産業動物	小動物	公衆衛生
4月			
5月			
6月19日(金) ～21日(日)	第100回日本獣医麻酔外科学会/第112回日本獣医循環器学会/第67回日本獣医画像診断学会 2020春季合同学会 (さいたま市 大宮ソニックシティ)→中止		
7月23日 (木・祝)		東支部 「乳腺腫瘍」 日本小動物医療センター 小林 哲也 先生 病理組織検査ノースラボ 賀川 由美子 先生 (越谷市 越谷サンシティ)→中止	
8月			
9月6日(日)	令和2年度 関東・東京合同地区獣医師大会(栃木) 獣医学術関東・東京合同地区学会 (宇都宮市 栃木県総合文化センター)→1年延期		
9月27日(日)	埼玉県獣医師会主催学術講習会(Web講習会) 「犬の消化器疾患と食事管理」/東京大学 大野 耕一 先生 「犬猫の心因性食欲不振及びFIC」/米国獣医行動学専門医(ACVB) 入交 眞巳 先生 【YouTubeにて開催】		
10月18日(日)		東支部 「整形外科～膝蓋骨って何者？手術適応 は？術式は？」 東京大学付属動物医療センター 本阿彌 宗紀 先生 【Zoomにて開催】	
11月			
12月6日(日)		西支部 「猫特有の消化器疾患」 東京大学 大野 耕一 先生 【Zoomにて開催予定】	
12月6日(日)		東支部 「画像診断(未定)」 日本小動物医療センター 戸島 篤史 先生 (越谷市 越谷サンシティ)→中止	
令和3年 1月17日(日)		南支部・東支部 「10万件の国内データベースから学ぶ、部 位別鑑別診断リスト活用のすすめ」 ノースラボ 賀川 由美子 先生 日本小動物医療センター 小林 哲也 先生 【Vetpeerのサイトにて開催】	
1月22日(金) ～24日(日)	令和2年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会(兵庫) (神戸国際会議場・展示場)→中止		
1月29日(金)	農林支部 令和2年度埼玉県家畜保健衛 生業績発表会 (さいたま市 中央家畜保健 衛生所) →3月23日(火)に延期		
2月11日 (木・祝)		北支部 「腹部臓器のよくあるX線画像と超音波画像 ～まずここから始めよう～」 日本小動物医療センター 戸島 篤史 先生 【Zoomにて開催】	
2月28日(日)		西支部 「眼表面(眼瞼、結膜、瞬膜)の主な疾患」 日本小動物医療センター 小野 啓 先生 【Zoomにて開催】	
2月			衛生支部 健康福祉研究発表会 食肉衛生技術研修会
3月21日(日)		西支部 「下部尿路疾患」 日本獣医生命科学 宮川 優一 先生 【Zoomにて開催】	

事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vma.org/>

ID：SVMA（半角・大文字） パスワード：MITSUO（半角・大文字）

- | | | | |
|------------|--|-------|---|
| 11月21日～22日 | 2020彩の国食と農林業ドリーム
フェスタ（草加市 まつばら綾瀬川公
園）→ 開催中止 | 1月29日 | 家畜保健衛生業績発表会（さいたま市
中央家畜保健衛生所）→ 3月23日に
延期 |
| 12月6日 | 西支部学術講習会（場所未定） | 2月11日 | 北支部学術講習会（Web開催） |
| 12月6日 | 東支部学術講習会（場所未定）→ 開
催中止 | 2月16日 | 埼玉県酪農・肉用牛生産近代化計画策
定に係る検討会議（さいたま市 埼玉
会館） |
| 12月8日 | 馬防疫技術講習会（熊谷市 ホテルヘ
リテージ） | 2月28日 | 西支部学術講習会（Web開催） |
| 令和3年 | | 3月21日 | 西支部学術講習会（Web開催） |
| 1月17日 | 南支部・東支部合同学術講習会（Web
開催） | 3月23日 | 家畜保健衛生業績発表会（さいたま市
中央家畜保健衛生所）リモート開催 |
| 1月18日 | 知事と農林水産団体長との賀詞交換会
（さいたま市 知事公館） | | |
| 1月22日～24日 | 令和2年度日本獣医師会獣医学
術学会年次大会（神戸市 神戸国際会
議場・展示場）→ 開催中止 | | |

編集後記

あけましておめでとうございます。

2021年がみなさまにとりまして良い年になりますようお祈り申し上げます。

暮れから正月にかけての世界は様変わりで、神社も寺も初詣はまばらで、お参りは暮れから元旦だけでなく良いとの事だったが、それでも御利益はいつもと同じだろうか？

昨年11月から四国、九州、関西地方で多発していた高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）は、埼玉でも野生のフクロウからウイルスが検出された。千葉では年末年始に110万羽規模の巨大養鶏場2か所で発生し、1月21日にはあひるの飼育農場で疑似患畜が確認され、そこから埼玉県内の2農場に出荷されたあひるのヒナが疑似患畜として同日殺処分された。そして半年発生がなかった豚熱は9月に群馬で発生し、年末には東北地方の山形県まで北上、さらに三重県でも発生した。この時期、家保の先生方、県庁農林部、環境部、保健医療部の先生方、そしてコロナ禍で自身にいつ感染するか分からない状況で奮闘して頂いている医療従事者の皆様には、本当にご苦労様です。

COVID-19のワクチンはどれだけ効くのだろう？来年の今頃は？いや五輪は？政府はやる気だ、アスリートの皆さんには申し訳ないが、国民の多くが五輪に否定的な調査も出ているので、ワクチンに望みをつなぎたい。

暮れ正月と医療関係者の皆さんの於かれた状況や、感染の激増にシビレを切らして関東1都3県の知事が政府に緊急事態宣言を出すよう要請し、政府は重い腰を上げて発動した。感染は地方にも急激に拡大しており、関西、中部、九州地方などの7府県もこれに続いた。安倍政権の時から、政府のCOVID-19や様々な対応は後ろで誰かが糸を引いているのか？と思われる様に打つ手が遅きに失しており、菅内閣の支持率が低迷しているのが気になるところです。

COVID-19の重症患者を受け入れている病院のある医師が現状をマラソンに例えて「ずっと長距離を走っていて、ゴールが見えないのに全力疾走を強いられている様だ！」と言っておられた、国民が感染者の増加に慣れてしまっている。

そして、13日に日本医師会会長がトリアージと言う耳慣れない言葉を発言された。朝日新聞によると、羊毛やコーヒー豆の選別に使われたフランス語でナポレオンの時代に医学に応用され、戦場では重傷者を後回しにして軽症者を治療して戦いに復帰させるという「選別」の意味だそうで、COVID-19でもそうなりかねないという。恐ろしい事である。秋までは何とか上手くいっていたのにせっぱ詰まった思いを国民全体が深く受け止めなければならない。

我々獣医師は感染症に対しては、HPAIでも豚熱でも経験している。感染動物が持っているウイルスを移動させない為に殺処分、埋却し発生場所に留めて他に出さないことが大前提だ。人では殺処分はできないが、発生現場でウイルスと共に人を留めて置く事である、緊急事態宣言＝移動禁止と捉えるべきだ。ドイツのメルケル首相の様に、より力強く国民の心に深く訴える事が出来ないものか？医療に関係する方々が異口同音に訴えている“命が亡くなったら経済も何もあったものでは無い”はずである。GoToキャンペーンの反省を元に、激増している感染者数を減少させる対策は人々が動かない事が基本となるべきである。

第687号の会報の予告と学術広報版には各支部主催の講習会がWeb開催となっております。暮れからコロナ感染者が爆発的に増えて二度目の緊急事態宣言が1月8日から2月7日までの期間で発動されました。獣医師会の事務所がある共済会館でも2階の貸会議室で開催された講習会の出席者から年末、年始に二人の感染者が発生しました。本会や各支部に於かれましてはWebでの会議や講習会を開催されており賢明な選択でした。しかし社会の動きは変わりましたが対面が良いのは当然です。今は習うより慣れる！ですね。暫くは頑張ってください。

埼玉県の大野知事も連日の様にTVやラジオで県民の皆さんに不要不急以外は外出はやめて頂きたいとお声掛けしております。本会も公益社団法人として認められている以上、出来る限り協力し少しでも早くCOVID-19が沈静化する事を願いながら、本年もよろしく願い申し上げます。
(不動)



日本獣医師会・獣医師会活動指針

－ 動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。－

- 1 地球的課題としての食料・環境問題に対処する上で、生態系の保全とともに、感染症の防御、食料の安定供給などの課題解決に向け、「人と動物の健康は一つと捉え、これが地球環境の保全に、また、安全・安心な社会の実現につながる。」との考え方（One World-One Health）が提唱され、「人と動物が共存して生きる社会」を目指すことが求められている。
- 2 一方、動物が果たす役割は、食料供給源としてのほか、イヌやネコなどの家庭動物が「家族の一員・生活の伴侶」として国民生活に浸透するとともに、動物が人の医療・介護・福祉や学校教育分野に進出し、また、生物多様性保全における野生動物の存在など、その担うべき社会的役割は重みを増すとともに、一層多様化してきている。
- 3 他方、国民生活の安全・安心や社会・経済の発展を期する上で、食の安全性の確保や口蹄疫、トリインフルエンザ、狂犬病等に代表される新興・再興感染症に対する備えとともに、家庭動物の飼育が国民生活に普及する中で動物の福祉に配慮した適正飼育の推進が、更には、地球環境問題としての生物多様性の保全や野生鳥獣被害対策を推進する上での野生動物保護管理に対する関心が高まってきている。
- 4 我々、獣医師は、「日本獣医師会・獣医師倫理綱領－獣医師の誓い－95年宣言－」が規定する専門職職業倫理の理念の下で、動物に関する保健衛生の向上と獣医学術の振興・普及を図ること等を通じ、食の安全性の確保、感染症の防御、動物疾病の診断・治療、更には、野生動物保護管理や動物福祉の増進に寄与するとその責務を担っている。
- 5 獣医師会は、高度専門職業人としての獣医師が組織する公益団体として、獣医師及び獣医療に対する社会的要請を踏まえ、国民生活の安全保障、動物関連産業界の発展による社会経済の安定、更には、地球環境の保全に寄与することを目的に、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」を活動の理念として、国民及び地域社会の理解と信頼の下で、獣医師会活動を推進する。

【参 考】

「One World-One Health」とは、動物と人及びそれを取り巻く環境（生態系）は、相互につながっていると包括的に捉え、獣医療をはじめ関係する学術分野が「ひとつの健康」の概念を共有して課題解決に当たるべきとの考え。2004年に野生生物保全協会（WSC）が提唱した。また、国際獣疫事務局（OIE）は、2009年に「より安全な世界のための獣医学教育の新展開」に関する勧告において、動物の健康、人の健康は一つであり生態系の健全性の確保につながるとする新たな理念として「One World-One Health」を実行すべきである旨を提唱している。

広告

わたしたち森久保薬品は人と動物の「これから」を真剣に考えています。

胃腸と皮膚が気になる犬に



Dr. CREDO No.1
成犬用 総合栄養食 1kg・3kg

血流と健康が気になる犬に



Dr. CREDO No.2
中・高齢犬用 総合栄養食 1kg

下部尿路が気になる成猫に



Dr. IDEA No.1
成猫用 総合栄養食 150g×6パック(900g)
400g×6パック(2.4kg)

成猫の体重管理に



Dr. IDEA No.2
成猫用 総合栄養食 150g×6パック(900g)
400g×6パック(2.4kg)

M 森久保薬品株式会社

神奈川：046-221-0620 山梨：055-224-5278 群馬：027-230-3322 東京：042-564-2381 埼玉：04-2968-0881
三郷：048-948-2112 栃木：028-666-3399 茨城：0296-43-1661 千葉：043-309-8080

広告

KMバイオロジクスは
狂犬病の予防啓発に取り組んでいます。

kmb

飼い主の皆さまへ向けて



リーフレット
「狂犬病について考えてみよう」



アニメーション 「狂犬病ワクチンを注射しましょう」



動画はこちら



製造販売元
KMバイオロジクス株式会社

☎(096)345-6505(営業直通)
☎(03)3443-0177(東京営業所)